

春を告げる 古典芸能



4月19日、関まつりの中心行事である春日神社の祭礼が同所で行われ、多くの見物客でにぎわいました。祭礼では獅子舞や巫女舞、仮面舞(えびす、伊賀(ひよっこ)、おかめ、天狗)、浦安の舞が奉納され

たほか、浦嶋山車、加茂山車によるからくり披露、古典神事芸能「どうじゃこう」が奉納されました。集まった見物客は、境内で繰り広げられる伝統の古典絵巻に、歓声と拍手を送っていました。

あんな事、こんな事



みこしをくぐって無病息災

富之保岩山崎地区の水無神社で4月19日、春の例大祭が開催され、神様が大小2基のみこしに乗って、粟野地区の仮宮まで約1キロの旅に出る「神幸渡し」が行われました。行列を先導するのは、こん棒を持った「棒振り」と呼ばれる2人の鬼。ゆっくり歩いて行く行列は幽玄で、この行列の神輿の下をくぐると、1年間無病息災でいられるといわれています。

伝統のみこしを担いで

倉知地区で4月19日、「倉知まつり」が開催され、白山神社を祭る上組と鞍智神社を祭る下組からそれぞれみこしが担ぎ出され、祭礼場になっている関自動車学校で出会いました。2基のみこしは競り合ったあと、同校敷地内の神事が行われる場所まで全力で駆けて行きました。このお祭りは郷土の伝統として地元住民によって永年に渡って受け継がれています。



